

第2回吉田高校学校運営協議会

令和4年11月13日（日）

場所 吉田高校朝日子ホール

開会 午前9時30分

次 第

司会 野澤俊英

- 1 開会の言葉（司会）
- 2 学校長あいさつ
- 3 学校運営協議会会長あいさつ
- 4 教育活動報告（各担当主任より）
 - （1）理数科「課題研究」発表会報告
 - （2）学園祭「蒼風祭」の観覧報告
 - （3）部活動報告（関東大会、全国大会）
 - （4）総合的な探究の時間における地域連携関係の報告
- 5 議事（議長 鶴田清司会長）
 - （1）令和4年度第1回学校評価報告と第2回学校評価に向けての対応
（総務主任 志村より）
 - （2）生徒指導規程一部改訂について（生徒指導主事 渡辺より）
 - （3）令和5年度教職員任用について
 - （4）その他
- 6 連絡事項
 - （1）次回学校運営協議会開催日について
 - （2）その他
- 7 閉会の言葉

4 教育活動報告

(1) 理数科「課題研究」発表会報告

開催期日・時間 9月3日(土) 午後12時45分より
 開催場所 本校視聴覚
 参加者 理数科1.2年(80名)
 2年生：研究発表者・聴講者
 1年生：聴講者・運営補助
 発表方法 発表時間10分間以内 質疑応答時間3分以内
 グループ毎に発表を行う
 グループ員全員が必ずプレゼンテーションをおこなう。
 プレゼンテーションソフト(PowerPointを使用)

研究協力(8機関、1個人：令和4年度)

- ①富士山科学研究所 ②山梨県産業技術センター富士技術支援センター
- ③健康科学大学 ④昭和大学
- ⑤山梨県立産業技術短期大学校 ⑥帝京科学大学
- ⑦富士山の銘水株式会社 ⑧富士癒しの森研究所
- ⑨渡辺天鵬氏(理数科19期・京都大学大学院理学研究科 特定研究員)

研究内容と指導担当

班	指導	研究テーマ
1	富士技術支援センター	金属材料の強さ
2	富士山科学研究所	統計を用いて山梨の状況を把握する
3	富士山科学研究所	さまざまな揺れの計測
4	健康科学大学	安全全般(生活上の安全・医療/福祉の安全 等)または 感染管理全般
5	健康科学大学	動作分析や筋電図を用いたヒト動作の解析研究
6	昭和大学	物体トラッキングプログラミング
7	昭和大学	50m走と12分間走の成績による外側広筋の筋繊維組成の推定について
8	山梨県立産業技術短期大学校	鋼の焼き入れに伴う組織の変化観察
9	帝京科学大学	孵化前のメダカ胚の生殖細胞の観察
10	帝京科学大学	様々な動作のバイオメカニクス
11	富士山の銘水株式会社	次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムの効果差
12	富士癒しの森研究所	簡便で有効なナラ枯れ防除法の検討
13	京都大学	バーゼル問題の単純な証明とリーマンゼータ関数について

『課題研究』とは、科学及び数学に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技能の深化、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を育てることを目標とする理数科専門科目であり、理数科の必修科目である。

今年度の2年生までは1年時終了時から2年時9月末までの活動を行っていたが、令和4年度入学生からは「理数探究」という週1時間の科目になり、さらに専門的な探究的活動が求められ、卒業までの3年間を通じて、系統的に探究活動を行う予定で、現在その計画を検討している最中である。既にスタートした1学年では前半に課題設定や文献研究の方法など一般的な探究活動の手法について学び、後半は仮に設定したテーマに対して自分で実験の計画を立て、データを取り、分析・考察を行うという自然科学での探究のスキルを学んでいる。

課題研究には地元の企業、研究所、大学等に協力を仰ぎ、各機関に生徒が赴き、そこで

研究者の指導の下で実験、分析などの研究に実際に取り組ませていただいている。今年度は1名の生徒が、数学について探究したいと強く要望したところから、理数科の卒業生で、京都大学大学院で数学の研究員を務めている渡辺天鵬氏に指導を依頼した。渡辺氏はオンラインで継続的に指導を行い、GW、夏休みには対面で指導をした。また、発表会当日にも京都から駆けつけてくださった。

尚、栗井英朗環境財団助成事業として実施し、研究に関わる経費の助成を受けている。

また、9班は研究内容が高評価を受け、10月8日（土）に行った中学生・保護者向け理数科説明会「理数科セミナー」においても、発表を行った。



(2) 学園祭「蒼風祭」の観覧報告

開催日 令和4年7月1日(金)、2日(土)

内容 当日実演項目 ミュージカル クラス企画 合唱 文化部発表
展示項目 ガラス画 クラス旗・ブロック旗 文化部発表

方法 感染症蔓延防止ため、3年生の保護者を対象に午前中のみ一般公開を実施した。

ミュージカル、クラス企画、合唱は2日連続で同一物を実施した。

その他 本運営協議会委員3名に7月1日(金)、2日(土)に蒼風祭をご高覧頂いた。

ご高覧頂いた委員より、次のような感想を後日頂きました。

1. 合唱と有志発表を少し見させて頂き、生徒たちの普段見られない様子を感じ取ることができ、とても有意義でした。
2. コロナ禍の中での学園祭でしたが、ミュージカルでは生徒たちが生き生きと演じており、レベルの高さに驚きました。クラス企画も工夫を凝らしたものを拝見し、感心しました。
3. 合唱は人数が少なめでしたが、どのブロックもとても熱心に取り組んでいて、生徒たちの蒼風祭にかける思いが伝わってきました。



(開会式)



(ミュージカル)



(合唱)



(ブロック旗)



(文化局発表)



(ガラス面)



(クラス企画)



(3) 部活動報告 (全国大会、関東大会出場)

①全国大会参加部と成績 (入賞、入選に限る)

高等学校体育連盟、高等学校文化連盟関係

★全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会

男子 67kg 級 第1位 高草公佑

★全国高等学校総合体育大会

・ウエイトリフティング部

男子 67 kg級 スナッチ 第1位 クリーン&ジャーク 第2位 総合 第2位 高草公佑

・ボート部 ・弓道部 ・自転車部

★全国高等学校総合文化祭

・放送部

アナウンス部門 審査員特別賞 中野愛子

- ・囲碁将棋部（将棋班）
- ・音楽部

②関東高等学校大会（出場部及び優勝者名）

- ・ウエイトリフティング部：優勝 高草公佑
- ・ボート部、ヨット部、陸上競技部、弓道部、自転車部

（４）総合的な探究の時間における地域連携関係の報告

1 学年

5 / 18（水）：地域講演会

地域課題発掘のための講演会

講座名	講師	テーマ
防災	富士吉田市役所 安全対策課 富士山火山対策室	家庭内防災をすすめるには
子育て	富士吉田市役所 子育て支援課 保育・幼稚園室	子育て支援センターを利用してもらうには
健康	富士吉田市立看護専門学校	この地域で暮らす人が健康になるためには
交通	富士急バス株式会社 業務部	公共バスの良さを伝えていくためには
産業	富士吉田織物協同組合	地場産業を広めていくためには

8 / 31（水）：中間発表（各教室）

各自で設定した探求テーマについて、地域に住む講師から探求のヒントやアドバイスを受ける

1 組：富士吉田市立看護専門学校

2 組：光織物有限会社

3 組：富士急バス

4 組：富士吉田市役所 子育て支援課 保育・幼稚園室

5 組：富士吉田市役所 安全対策課 富士山火山対策室

9 / 28（水）：楽問楽学

大学模擬授業。山梨大学・都留文科大学など地域の大学に講義依頼

講座名	出席校・講師	テーマ・授業内容
経済・経営	明治大学	誰がために経済学はある-経済学の道具と道具としての経済学-
国際関係	都留文科大学	ポストコロニアルとは何か-文学とアートを中心に-
教育	山梨大学	SDGs 時代における日本の教育・アジアの教育
看護	山梨県立大学	看護の基本-看護実践を支えるナースの思考と技術-
薬学	明治薬科大学	薬学部で学ぶこと学べること
法学	中央学院大学 【オンライン】	法学部で学べること
医学	山梨大学	明日の医療を切り開く

建築	工学院大学 【オンライン】	建物の安全性を高める取り組み
機械	東京理科大学 【オンライン】	暮らしを支える機械の仕組みとシステム
生命・環境	山梨大学	からだをつくる細胞の話
医療技術	北里大学	臨床検査技師のお仕事と感染症のお話し
食物・栄養	女子栄養大学	栄養学のはなし～何をどれだけ食べればいいのか～
哲学・心理	東京女子大学 【オンライン】	効果的な学習方法
物理	慶應義塾大学	レーザー応用工学概論 ～物理学がどのように最先端を切り拓くか～

10 / 19 (水) : RESAS研修～RESASを使って地域課題をみてみよう～ (各教室)

経済産業省の地域経済分析システムの利用について、関東経済産業局の講師による講演

今後の予定

11 / 16 (水) : 校外学習 (地域の企業・諸機関)

テーマ毎に地域の企業・諸機関などに赴き、現状などの確認
→講師最終調整中

1 / 25 (水) : 学年発表会 (本校) 成果物を提示して発表。講師より評価を受ける。

2 学年

6 / 15 (水) : グループ探究の企画書作成 (グループ毎本校内各会場)

富士吉田商工会青年部の講師から事例提供を受けるとともに、各グループ企画書にアドバイスを受ける。講師・アドバイザー計 29 名

15 講座とその講師

講師氏名	ジャンル	講演タイトル
北田萌	コワーキング	「働き方パーソナライズ」～「働く場所」と「働く時間」の選択肢を増やす～
桑原良	酒屋	自由業を目指そう！
渡辺果林	飲食	It's show time!
高村光	マッサージ	改訂版『600 円しかないボクがどうやって会社を作った？』
白須一政	馬車	馬いる 生まれる スマイル！
江見崇	学習塾	受験に向けての成績 UP の方法について
鈴木智華	エンタメ	新しい取り組み
萩原健	介護	介護の本当の仕事 ～3K とは～
山崎博之	織物	郡内織物の歴史とこれから
羽田友太	飲食	愛
小林佑輔	オーダースーツ	仕事・場所選び
羽田豊	リゾートホテル	ホテルのお仕事について

大原弘士	文具	「捨てる力」～当たり前を捨てることで学習や仕事で得られること～
木川貴	車両電装	マンガ好きが転生したら社長になった件 SEASON 2
鬼頭功	飲食・ボルダリング	挑戦

10/12（水）：校外学習（地域の企業・諸機関）

テーマ毎に地域の企業・諸機関などに赴き、現状などの確認
→講師調整中

- ① 織物チーム（21名）
 - ・富士山駅 ・羽田忠織物 ・舟久保織物 ・田辺織物 ・渡小織物
- ② 河口湖周辺（23名）富士急行大型バスで移動【古屋】
 - ・リサイクルセンター ・河口湖駅前 ・山岸旅館 ・山澄園
 - ・河口湖漁業組合 ・母の白滝
- ③ 富士吉田市内（18名）
 - ・赤い屋根 ・ソーシャルハウス宝島 ・下浅間神社 ・給食センター
 - ・環境美化センター
- ④ 忍野・山中湖方面（27名）
 - ・名取さん（農家） ・フォレストビズ振興機構 ・道の駅富士吉田
 - ・鐘山の滝 ・忍野八海 ・山中湖文学の森公園
- ⑤ 西湖方面（6名）学校ワゴンで移動
- ⑥ 富士吉田市内（21名）
- ⑦ 学校で作業（117名）
 - ・うどん作り＋ストレッチ講座＋山梨大オンライン

10/26（水）：中間発表（グループ毎本校内各会場）

各グループで設定した探求テーマについて、これまでの成果発表とともに、地域に住む講師から探求のヒントやアドバイスを受ける
→10会場 61グループ

今後の予定

2 / 8（水）：学年発表会（本校）成果物を提示して発表。講師より評価を受ける。



商工会議所（講師）



商工会議所（講師）



RESAS 探究



RESAS 探究



校外学習



校外学習

令和4年度（7）月実施学校評価アンケート質問項目（1年 生徒対象） 過年度比較

「大いに思う」場合には「0」「ほぼ思う」場合には「1」
「あまりそう思わない」場合には「2」「全くそう思わない」場合には「3」を
マークして下さい。
※網掛け項目は変更箇所

■回答人数:221名（ 月： 名）
■達成率=(大いに思う)+(ほぼ思う)

% %

問題 番号	項目	質 問 項 目	0	1	2	3	達成率 (0+1)	↑ ↓	R3年度 1年生 7月
1	生徒 の 知 識 活 用 力 を 高 め る	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシーを意識して生活している。	15.4	56.6	26.7	1.4	72.0	↓	83.6
2		吉田高校では、生徒に考えさせ、生徒が主体的に学ぶ授業がおこなわれている。	39.4	56.1	3.6	0.9	95.5	↑	92.3
3		私は、授業が楽しいと感じることが多い。	23.1	58.4	15.8	2.7	81.5	↑	76.2
4		私は、授業で感じた疑問を自ら調べようとしている。	24.4	58.4	15.8	1.4	82.8	↓	89.2
5	生徒 の 主 体 性 を 高 め る	私は、学習と部活動を含めた諸活動との両立に努めている。(いた)	42.5	37.6	16.3	3.6	80.1	↓	89.8
6		(旧)私は、身の回りに存在する課題に対して、意欲的に行動している。 (新)私は、自己の任務や課題に対して、意欲的に取組んでいる。	33.5	49.8	15.4	1.4	83.3	↑	82.8
7		私は、自分の言動に責任を持って行動している。	41.6	47.1	10.4	0.9	88.7	↓	92.3
8	生徒 の 社 会 性 を 養 う	新聞、自治体の広報、地域の連絡資料等を読んだり、地域の行事に参加するなどして、社会全体の状況や地域の状況を知るようにしている。	10.0	31.4	46.8	11.8	41.4	↓	60.8
9		私は、部活動、生徒会行事、または学校外活動に取り組み、多くの人と関わるようにしている。	42.1	39.8	14.9	3.2	81.9	↓	92.2
10		私は、SDGsを理解するとともに、周囲への配慮や奉仕の心を持って行動できるようになった。	24.4	53.9	19.0	2.7	78.3	↑	71.6
11	そ の 他	吉田高校では、webを利用して積極的に各種情報を提供している。	33.9	49.8	16.3	0.0	83.7	↑	73.7
12		私は、節電・節水を実践し、環境に配慮している。	32.6	51.6	15.4	0.5	84.2	↓	84.9
13	吉高 GP	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシー(8つの力)について、高校生活の中で総合的に向上した。	25.3	55.7	16.7	2.3	81.0	↓	91.0

分析

「生徒の知識活用力を高める」については今以上に吉高GPを様々な場面で意識させることが必要であると感じる。
「生徒の主体性を高める」については特に「部活動との両立」の評価が低い。課題の多さに翻弄されているようなコメントもあるが、環境への慣れや学習習慣の定着をさせつつ教師側も課題選択制なども視野に考えていかなければ多くの生徒のニーズに答えられないと感じる。
「生徒の社会性を養う」についてはコロナ禍の中で外部との接触の機会が著しく低下しているが、対面以外でできるだけ機会を作りたい。

令和4年度（7）月実施学校評価アンケート質問項目（2年 生徒対象） 過回比較

「大いにそう思う」場合には「0」「ほぼそう思う」場合には「1」
「あまりそう思わない」場合には「2」「全くそう思わない」場合には「3」を
マークして下さい。
※網掛け項目は変更箇所

■回答人数: 229 名（月: 名）
■達成率=（大いに思う）+（ほぼそう思う）

%

問題 番号	項目	質 問 項 目	0	1	2	3	達成率 (0+1)	↑ ↓	R4年 1月	R3年 7月
1	生徒の 知識活 用力を 高める	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシーを意識して生活している。	22.3	59.8	17.9	0.0	82.1	↓	82.7	83.6
2		吉田高校では、生徒に考えさせ、生徒が主体的に学ぶ授業がおこなわれている。	36.2	53.3	9.6	0.9	89.5	↓	90.4	92.3
3		私は、授業が楽しいと感じることが多い。	14.0	55.9	27.5	2.6	69.9	↑	65.8	76.2
4		私は、授業で感じた疑問を自ら調べようとしている。	27.1	63.3	8.7	0.9	90.4	↑	86.1	89.2
5	生徒の 主体性 を高める	私は、学習と部活動を含めた諸活動との両立に努めている。（いた）	40.6	43.7	14.0	1.8	84.3	↑	83.9	89.8
6		（旧）私は、身の回りに存在する課題に対して、意欲的に行動している。 （新）私は、自己の任務や課題に対して、意欲的に取り組んでいる。	33.2	54.6	11.8	0.4	87.8	↑	82.7	82.8
7		私は、自分の言動に責任を持って行動している。	41.9	51.5	6.1	0.4	93.4	↓	93.9	92.3
8	生徒の 社会性 を養う	新聞、自治体の広報、地域の連絡資料等を読んだり、地域の行事に参加するなどして、社会全体の状況や地域の状況を知るようにしている。	13.5	37.1	45.0	4.4	50.6	↓	57.6	60.8
9		私は、部活動、生徒会行事、または学校外活動に取り組み、多くの人と関わるようにしている。	46.3	44.5	7.9	1.3	90.8	↑	85.2	92.2
10		私は、SDGsを理解するとともに、周囲への配慮や奉仕の心を持って行動できるようになった。	24.5	57.6	16.6	1.3	82.1	↑	71.9	71.6
11	その他	吉田高校では、webを利用して積極的に各種情報を提供している。	28.0	53.7	17.0	1.3	81.7	↑	73.2	73.7
12		私は、節電・節水を実践し、環境に配慮している。	38.0	49.8	11.8	0.4	87.8	↑	84.0	84.9
13	吉高 GP	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシー（8つの力）について、高校生活の中で総合的に向上した。	27.5	62.9	9.2	0.4	90.4	↑	90.0	91.0

分析

番号3の「授業が楽しい」と感じる生徒が少ない現状については、職員間で「生徒に達成感を持たせること」「学ぶことの楽しさを教員自ら率先して行うこと」を共有しました。
番号6「任務や課題に対して意欲的に取り組んでいる」については、昼食中指導なしでも黙食を心掛けていることにも表れている通り、一つ一つの行動に目的意識を持つてると思われる。
「生徒の主体性を高める」の項目については、今後の富士山学の課題の発表会や修学旅行の事前学習、進路学習などの学習以外の様々な場面で、地域社会とのかかわりや社会性を身に付けさせることが必要になってきます。コロナの影響もありますが、なるべく外部とのかかわりを多くできるような工夫を心掛けていきます。

令和4年度（7月）実施学校評価アンケート質問項目（3年 生徒対象） 過回比較

「大いにそう思う」場合には「0」「ほぼそう思う」場合には「1」
「あまりそう思わない」場合には「2」「全くそう思わない」場合には「3」を
マークして下さい。
※網掛け項目は変更箇所

■回答人数：235 名（ 月： 名）
■達成率=（大いに思う）+（ほぼそう思う）
%

問題 番号	項目	質 問 項 目	0	1	2	3	達成率 (0+1)	↑ ↓	R4年 1月	R3年 7月	R3年 1月	R2年 7月
1	生徒の 知識活 用力を 高める	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシーを意識して生活している。	25.1	57.0	17.0	0.9	82.1	↓	82.4	78.9	88.7	88.9
2		吉田高校では、生徒に考えさせ、生徒が主体的に学ぶ授業がおこなわれている。	36.2	57.0	6.0	0.9	93.2	↓	94.6	95.3	96.2	97.4
3		私は、授業が楽しいと感じることが多い。	23.9	58.6	16.2	1.3	82.5	↑	77.0	78.5	84.1	84.3
4		私は、授業で感じた疑問を自ら調べようとしている。	26.4	63.4	9.8	0.4	89.8	↑	85.1	83.6	86.2	87.3
5	生徒の 主体性 を高め る	私は、学習と部活動を含めた諸活動との両立に努めている。（いた）	40.4	38.7	15.3	5.1	79.1	↑	72.9	83.6	79.1	80.4
6		（旧）私は、身の回りに存在する課題に対して、意欲的に行動している。 （新）私は、自己の任務や課題に対して、意欲的に取組んでいる。	37.9	51.5	10.2	0.4	89.4	↑	73.5	83.6	83.2	88.1
7		私は、自分の言動に責任を持って行動している。	44.7	49.4	5.5	0.4	94.1	↑	92.4	92.2	94.1	94.4
8	生徒の 社会性 を養う	新聞、自治体の広報、地域の連絡資料等を読んだり、地域の行事に参加するなどして、社会全体の状況や地域の状況を知るようにしている。	12.3	43.4	36.2	8.1	55.7	↓	56.8	62.1	57.7	69.4
9		私は、部活動、生徒会行事、または学校外活動に取り組み、多くの人と関わるようにしている。	46.8	38.3	11.9	3.0	85.1	↓	89.2	88.0	86.6	92.3
10		私は、SDGsを理解するとともに、周囲への配慮や奉仕の心を持って行動できるようになった。	32.3	48.1	17.9	1.7	80.4	↑	68.4	77.6	77.8	69.4
11	その他	吉田高校では、webを利用して積極的に各種情報を提供している。	28.1	48.5	20.9	2.6	76.6	↓	78.0	77.5	78.2	86.3
12		私は、節電・節水を実践し、環境に配慮している。	39.6	50.6	8.5	1.3	90.2	↑	86.9	86.7	87.9	89.8
13	吉高 GP	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシー（8つの力）について、高校生活の中で総合的に向上した。	34.0	57.5	8.1	0.4	91.5	↓	92.8	93.5	93.7	91.5

高校生活も終盤にさしかかり、自らの進路実現に向けて前向きに学校生活を送っていることが伺える。
それに伴い「学習習慣」も劇的に伸びた。「生活習慣」の数値が落ちていることは気がかりだ。これから受験を乗り越えていくためにも、生活リズムを整える指導の必要性を感じる。

令和4年度(7)月実施学校評価アンケート質問項目(教職員対象) 過年度比較

「大いに思う」＝「0」「ほぼ思う」＝「1」
 「あまりそう思わない」＝「2」「全くそう思わない」＝「3」
 ※網掛け項目は追加

■回答人数:(49)名(月: 名)
 ■達成率=(大いに思う)+(ほぼ思う)
 %

問題番号	項目	質問項目	0	1	2	3	達成率 (0+1)	↑ ↓	R3 職員 7月
1	管理職	管理職は、リーダーシップを発揮し、適切に学校運営に当たっている。	20.4	59.2	20.4	0.0	79.6		
2	生徒の知識活用能力を高める	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシーを常に意識している。	8.3	72.9	18.8	0.0	81.2	↓	85.5
3		私は、生徒が主体的に参加する授業を実施している。	10.4	81.3	6.3	2.0	91.7	↑	83.6
4		吉田高校は、生徒評価を適切に行っている。	12.5	72.9	14.6	0.0	85.4	↓	90.9
5		私は、自分の授業を反省し、次の授業に反映できるように努めている。	22.9	75.0	2.1	0.0	97.9	↑	89.1
6	生徒の主体的性を高める	吉田高校では、すべての活動に「分析し、思考し、創造し、発信する」機会を増やしている。	8.3	77.1	14.6	0.0	85.4	↑	74.5
7		身の回りに存在する課題を発見し、他者との関係の中で「傾聴し、想像を共有し、行動する」機会をつくっている。	10.4	75.0	14.6	0.0	85.4	↑	74.6
8		吉田高校では、生徒自ら行動する態度を養っている。	4.2	68.8	27.1	0.0	73	↓	74.5
9	生徒の社会性を養う	吉田高校では、生徒に、80年の伝統を受け継ぐ一人ひとりであることを様々な行事を通じて学ばせている。	8.3	54.2	35.4	2.1	62.5	↑	56.4
10		吉田高校では、生徒に地域と関わり持つ機会を与え、地域の話や課題を意識させるように指導している。	14.6	79.2	6.3	0.0	93.8	↑	83.7
11		吉田高校では生徒が他者を思いやり健全な人間関係を築くことができるように指導している。	8.3	70.1	18.8	2.1	78.4	↑	72.7
12		吉田高校では、SDGsへの学びを深めさせ、ボランティア精神を養っている。	4.2	60.4	33.3	2.1	64.6	↑	63.6
13	その他	吉田高校では各種の「たより」やホームページで積極的に情報を提供している。	12.5	75.0	12.5	0.0	87.5	↑	80.0
14		吉田高校では校内で節電・節水を実践している。	4.2	64.6	25.0	6.3	68.8	↑	49.1
15~22		吉田高校グラデュエーション・ポリシーの8つの力について、それぞれ高校生活の中で生徒は、向上しましたか。							
15	吉高GP	① 自己肯定力 … 短所も含めて、自分を認める力	4.2	70.1	25.0	0.0	74.3	↑	65.4
16		② 傾聴力 … 他者の意見を謙虚に聴く習慣	12.5	77.1	8.3	2.1	89.6	↑	76.4
17		③ 分析力 … 事実を客観的に分析する習慣	8.3	77.1	14.6	0.0	85.4	↑	72.8
18		④ 思考力 … 物事を鵜呑みにせず、「何故か」を考える習慣	6.3	70.8	22.9	0.0	77.1	↑	70.9
19		⑤ 発信力 … 自分の考えを、わかりやすく他者に伝える方法	14.6	70.8	14.6	0.0	85.4	↑	70.9
20		⑥ 想像力 … 未来(結果)を考え、想像する力	2.1	68.8	25.0	4.2	70.9	↑	60.0
21		⑦ 創造力 … 課題を解決する方法を創造する力	10.4	60.4	29.2	0.0	70.8	↓	71.0
22		⑧ 行動力 … 自身の考えに基づき、行動する力	6.3	79.2	14.6	0.0	85.5	↑	71.0
		働き方改革を踏まえて業務の見直しを図れましたか							
23	働き方改革	担当業務内容全体を再構築し、分業や協業を行っている。	0.0	43.8	45.8	10.4	43.8	↓	54.6
24		ワークライフバランスを図るために、各自ができる具体的方策をとっている。(ICTの活用、定時退校の実践等)	0.0	39.6	54.2	6.3	39.6	↓	47.3

分析

4 生徒評価については、学校評価の質問事項や内容を精査し、回答後に結果をきちんと分析し、次年度の教育活動に確実ににつなげることが必要であると考えます。

9 本校は素晴らしい伝統校ですが、学校の歴史や伝統について、生徒に語る機会が少ないと思います。授業やHRまた学校行事の際に、本校の歴史と伝統についてきちんと学ばせたいと思います。また、学校林の草刈などの伝統行事に、より多くの生徒・教員が参加し、その意義を認識することが大切であると考えます。

12 SDGsへの学びについては、全員の先生方にSDGsの理念を授業に反映させて、その実践を報告していただくことになっています。今後は、SDGsは普遍的な教育的価値があるので、各教科の年間指導計画・評価計画にSDGsの理念や考え方を取り入れていくことが求められると思います。ボランティア活動については、コロナ禍で活動に参加することが難しかったことが評価が低い要因であると思います。コロナが収束に向かったときには、ボランティア活動、体験活動、地域の行事等へ積極的に参加を促したいと思います。

14 節電・節水については、HR単位での啓発の他に、たとえば生徒会本部が中心となって、具体的な数値目標を掲げた上で、全校生徒に節電・節水呼びかけ、結果をClassiで配信するなどの工夫もできるのではないかと考えています。

23,24 1年生で新たに観点別評価の業務が加わったこと、また、1年生ではBYODの導入もあり、業務負担が増加したことが達成率が下がった原因として考えられます。観点別評価については規程の改訂を実施済みであり、また、今後効率的な評価方法を教員間で共有していきたいと考えています。また、他校でも導入している定期試験後の採点日の導入を、来年度本校でも検討してはいいかがでしょうか。

令和4年度 第2回吉田高等学校学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和4年11月13日（日）
- 2 場 所 吉田高等学校朝日子ホール
- 3 時 間 午前9時30分より11時30分
- 4 参加委員 9名（敬称略）

鶴田 清司（会長） 梶原 正彦（副会長） 井出 智子
中村 義仁 高保 裕樹 栗井 晶子 渡辺 太郎 渡邊 正人
古屋 勇人（校長）

5 次 第 司会 野澤 俊英

- ① 開会の言葉（司会）
- ② 学校長あいさつ
- ③ 学校運営協議会会長あいさつ
- ④ 教育活動報告（各担当主任より）
 - （1）理数科「課題研究」発表会報告
 - （2）学園祭「蒼風祭」の観覧報告
 - （3）部活動報告（関東大会、全国大会）
 - （4）総合的な探究の時間における地域連携関係の報告
- ⑤ 議事（議長 鶴田清司会長）
 - （1）令和4年度第1回学校評価報告と第2回学校評価に向けての対応
（総務主任 志村より）
 - （2）生徒指導規程一部改訂について（生徒指導主事 渡辺より）
 - （3）令和5年度教職員任用について
 - （4）その他
- ⑥ 連絡事項
 - （1）次回学校運営協議会開催日について
 - （2）その他
- ⑦ 閉会の言葉（司会）

6 議事録

（1）校長挨拶

- ・ ウエイトリフティング部、弓道部、ボート部、放送部、囲碁将棋部、自転車競技等の活躍について紹介した。
- ・ 令和4年度中学校卒業予定者の第1次進路希望調査（9月20日実施）の結果が公表された。本校は普通科、理数科をあわせた志願倍率が1.39倍で昨年度と比べ改善が見られた。また、理数科の志願倍率は1.88倍、理数科の前期の志願倍率は3.83倍でともに県下で第2位に位置している。

- ・令和5年度の本校の募集定員は、今年度と同様に理数科40人、普通科200人で合計240人が維持された。
- ・令和5年度に普通科に設置する1年生の習熟度別クラスについては、第1回学校運営協議会で承認いただいた後、中学校での説明会、オープンキャンパス、中学校教員説明会等で説明し、開設への準備を進めている。
- ・教職員の任用について、令和3年度の学校運営協議会でいただいた意見が今年度の人事に反映されており、大変感謝している。本日の協議会でも令和5年度の教職員の任用について、意見・要望をいただき、県教育委員会に提出したいと考えている。

(2) 教育活動報告

資料に基づき、4つの教育活動について報告を行った。理数科「課題研究」発表会の報告においては、9月3日に行った発表会の映像（1班分）を視聴した。

(3) 議事

① 令和4年度第1回学校評価報告と第2回学校評価に向けての対応

担当主任が各学年生徒と教員のアンケート結果を踏まえ、改善している質問事項、課題がある質問事項等について説明を行った。また、課題点を踏まえて、今後の改善策について説明を行った。

(説明後)

委員

生徒のアンケートで「地域の行事に参加しているなどして、地域の状況を知るようにしている」の質問が、全学年を通じて低調である。コロナ禍でやむを得ないと思うが、私は地域の行事に関わっており、本校の生徒にぜひ地域の行事に積極的に参加してほしいと願っている。

委員

地域の祭りについては、主体は青少年育成会である。青少年育成会の組織の中で、高校生の立ち位置がとても曖昧である。青少年育成会とも連携して、地域の活動の中での高校生の立ち位置について検討すべきである。

委員

生徒へのアンケートで、「地域行事に参加する」という文言は、コロナ禍でもあるので削除した方が良いと思う。

委員

地域に関する質問項目で、生徒のアンケートと教員のアンケートで、乖離が見られる。両者の質問項目を訂正し、乖離をなくすようにすべきである。

委員

地域への取り組みを通して、世界へと視野を広げられるように生徒を指導してほしい。また、蒼風祭のミュージカルや放送部の活躍など、本校の文化レベルは相当高い。学校が地域の文化を創り出していけるように努力してほしい。

委員

富士山学において、富士吉田商工会議所青年部の方々が30名ほど講師として講演をしたという報告があったが、大変素晴らしいことである。富士吉田商工会議所青年部との連携を今後いっそう進めてほしい。今後、成果が出ることを期待したい。

委員

生徒のアンケートで「新聞を読む」の質問の回答が低調である。社会に広く目を向ける意味で新聞を読むことは大変有意義であると思うので、新聞を読むことを生徒に勧めてほしい。

委員

生徒のアンケートでSDGsについての質問項目がある。SDGsについて、来年度社会人講師を招聘し、各企業でSDGsの理念や趣旨をどのように企業経営に取り入れ、具体的な取り組みを実践しているかを講演してもらおうと良いと思う。

委員

SDGsの取り組みについては、生徒は具体的にどのように行動したらよいか、イメージをつかみにくいと思う。具体例を提示してあげると、意外に生徒がすでに行っている活動もあると思う。

委員

SDGsの理念を取り入れた体験旅行を担当している。SDGsは何を目標としているかということを、生徒に理解させることがとても大切である。

委員

中学校でもSDGsを推進する取り組みを行っているが、あまりうまくいっていないのが現状である。中学校でのSDGsの学びを、高校でさらに深められるような工夫が必要である。こうした観点から、中学校と高校との連携を考えると良いと思う。

委員

生徒のアンケートで、「授業が楽しいと感じることが多い」の質問に対する回答が、各学年ともとても高く、非常に良いことであると感心している。中学校の教員としても、とても嬉しく感じている。特に、高校3年生で「授業が楽しい」と感じている生徒が多いことはとても立派であると思う。

委員

教員のアンケートでの働き方改革の質問項目の回答が良くない。学校が働き方改革を推進するにあたり、地域で協力できることがあればぜひ声をかけてほしい。

委員

教員の働き方改革に関して、今年度定期試験の採点日を設定したという説明があったが、とても良いことである。来年度に向けて、定期試験の採点日を拡大する方向で検討してほしい。

② 生徒指導規程一部改訂について

担当主任より、生徒指導規程一部改訂について、これまでの経過の説明があった。女子

生徒の希望者に対して、スラックスを導入したいと考えている旨の説明があった。

(説明後)

委員

女子のスラックス導入については、大賛成である。女子のスラックス導入の理由については、あくまでも防寒、防犯のためとすることが良いと思う。

委員

ブラック校則の見直しについても、中学校と連携しながら進めていきたいと思う。

委員

生徒の意見を大切にしてほしい。ネクタイは地場産業品でもあるので、これからも愛用してほしい。

委員

女子生徒のスラックスの値段が非常に高い。値段が安くなれば、購入を検討できると思うので、値段を安くする方向で検討してほしい。

委員

服装の規程について、生徒が考えをまとめて、生徒総会で学校側に質問したにもかかわらず、返答がもらえなかった。生徒は大きなショックを受けた。ポロシャツ導入の議論も進んでいない。生徒を子ども扱いしないでほしい。また、生徒たちのパワーをポジティブな方向に向けられるように指導してほしい。

委員

生徒総会の生徒の質問について、教員がきちんと回答する努力を怠ってはいけない。教員は、生徒に真摯に向き合ってほしい。

委員

男女とも同じ制服でも良いのではないかな。女子のネクタイも素敵だと思う。創立90周年に向けて、制服について検討を進めてほしい。

③ 令和5年度教職員の任用について

古屋校長より、令和4年度の教職員教科別・年齢別構成表等について、説明があった。

(説明後)

委員

富士東部地区の唯一の理数科設置校として、生徒・保護者や地域の期待に応えるためには、基幹教科をなす数学・理科・英語の教員が教科指導と担任としての指導を一体となして指導することが望ましいと思う。そのためには、これら3つの教科で担任を任せることができる30歳代後半の安定的な人事配置を要望したい。

委員

年齢層ごとに男女のバランスのとれた人事配置を望みたい。40歳代の男性教員の在籍がないので、人事異動に際して40歳代男性教員の配置を要望したい。特に、地歴公民科における教員の正規任用教員の年齢層が高いと思う。世代交代が円滑に行えるよう50歳以下の年齢の教員の人事配置を要望したい。

委員

郡内地域・富士北麓地域に赴任した若い先生がその地域に定住あるいは長く在籍できる制度作りを要望したい。また是非とも、地域間交流で転出する教員が出る場合の補充で赴任する教員には、初任者を充ててほしいと思う。

委員

本校の生徒は真面目で誠実であり、教員にとって働きやすく働きがいのある職場となっている。本校で働く利点や魅力をぜひ県下の教員に伝えてほしい。

委員

創立90周年まであと5年となった。創立90周年の準備のためにも、ぜひ本校の同窓の校長を、創立88～89周年度（令和7～8年度）に配置してほしい。

④ その他

なし

（４） 連絡事項

① 第3回学校運営協議会の開催日について

教頭より2月中旬の休業日を予定していることと、それに伴って、12月に各委員の都合を伺う予定であることを伝えた。

② その他

なし

以上